

みんなの会

園の食育のテーマ

“おいしく食べよう元気に遊ぼう！！”
“残さないでちゃんと食べよう”
の気持ちを育てる

(幼児クラス)

給食室の調理風景のビデオ上映から始まりました。子ども達は、4人の調理担当がたくさんじゃがいもの皮むきや、色々な食材を次々と切っているところ、大きな鍋が点火され、切られた大量の野菜を大きなしゃもじで体を使って炒めている様子などを見ました。そして保育所の全員が給食を食べるには、4人の調理担当が、大量の食材を大きな調理器具で一生懸命に調理してくださっている事を知り感謝の気持ちが育ちました。

切られた大量の野菜の中に「こあら組さんが収穫したピーマンも入れて下さっているよ。」と知らせると、少し誇らしそうな表情をして、またビデオに集中していました。



家庭用のしゃもじと給食室の物を実際に見せると、「わあ、おっきいな！」と次々と驚きの声が聞こえました。



数種類の給食室の調理器具と家庭用の物を実際に比べてみると大きさの違いがよくわかりました。

「ちゃんと食べよう体操」では、どの子どももしっかり体を動かしていました。



給食室のお鍋と同じ大きさに切られた紙の上には、こあら組の子どもたちが11人も入りました。



(未満児クラス)

食べたい物、好きな物が増える子どもを目指しています。子ども達に食材の名前や色、形、匂い、そして触れるということから、食べる事への興味関心をもてるようにしました。この日の給食献立に使われる小松菜、人参、オレンジを子ども達の目の前で保育士がまな板と包丁を使い切るところを見せ、触れられるようにしました。子ども達は野菜や果物に触れ、匂いを嗅ぎ、様々な発見がありました。

保育士が前で野菜や果物を切るのをじっと見ていました。切った野菜が目の前にくると大きな口を開け今にも食べそうでした。香りに誘われ食欲がわいたようです <0歳児>

これ何かわかるかなあ？と聞くと、「はっぱー！」と答えていましたが「こ・ま・つ・な」という名前である事を知らせると同じように『小松菜』と言い、覚えることができました



野菜が出てくる手遊びをしました。♪だいこんはこんこん♪野菜の名前も沢山知ることが出来ました



“トントントン…野菜を切るリズムカルな音に“何ができるのかな？”と心待ちにした表情で切れていく野菜を見ていました <1歳児>



オレンジの甘い香り、小松菜の青くさい香り、たまねぎの刺激的な香りそれぞれに色々な表情をしていました <1歳児>



「なんか葉っぱのにおいする〜」「にんじんと違う」と野菜の匂いの違いを感じました。 <2歳児>



切ったオレンジを見て「いっぱいつまってる」と、つぶつぶが集まっている事を知りました <2歳児>

